

令和2年度第1回入札監視委員会の審議概要

開催日時 令和2年5月28日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで
場所 仮本庁舎3階 総務文教委員会室
出席委員氏名 田中 幸輔 委員長
椎屋 恵美 委員
奥村 高史 委員
牛草 敏憲 委員
犬童 祐子 委員
審議対象期間 令和元年10月1日～令和2年3月31日
対象工事件数 55本
抽出審議案件 6本

質 問	回 答
<p>抽出審議工事1：合ノ原町配水管改良工事</p> <p>(1) 水道管のサイズが、他の地区の工事に使用したものよりも大きいのはなぜですか。</p> <p>(2) 1回目の変更契約について、増額した理由は何ですか。</p>	<p>報告事項について 入札・契約の手続きの運用状況の報告について</p> <p>(事務局から入札・契約事務の経過について説明する。)</p> <p>(1) 使用水量を計算した上で使用する水道管を決定していますが、当該地区は、近くに施設や事業所が多数あり、使用水量が一般家庭よりも多いため、サイズを大きいものにしてあります。</p> <p>(2) 人件費の増額が主な理由です。夜間作業へ変更した箇所があり、昼間作業に比べて人件費が約1.5倍となることから、増額となりました。</p>
<p>抽出審議工事2：曙橋下部工補修工事</p> <p>(1) 工事で中止箇所(P2橋脚部分)があるにも関わらず、なぜ増額の変更契約になったのですか。</p>	<p>(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)</p> <p>(1) 中止箇所に係る金額は減額していますが、仮栈橋工及びコンクリートブロック張の取壊し工の追加があり、減額分を上回ったためです。</p>

<p>(2) 仮棧橋の追加とありますが、どの部分ですか。</p> <p>(3) P2橋脚の施工が中止になったのはなぜですか。</p> <p>(4) 炭素繊維巻立てをすることで、長寿命化を図れるということですか。</p> <p>(5) P2橋脚の工事はいつ行われますか。</p>	<p>(2) 鋼矢板を打ち込む予定だった場所ですが、矢板が届かないと判断したため、その部分に仮棧橋を伸ばしました。設計時には、クレーンが入る予定でしたが、設置する業者から指摘があり、変更となりました。</p> <p>(3) 施工に伴い、川をせき止めるための壁を作る工事がありましたが、地層が硬く打ち込みができなかったため、工事を断念しました。</p> <p>(4) コンクリート鉄筋構造物の鉄筋が少ない所に巻立てをすることによって、中の鉄筋を増やすことと同等の補強ができます。耐震化を図れる工法です。</p> <p>(5) 来年度の調査用(測量設計)の予算要求を国へ行っています。今後、順調に進めば令和4年度で工事を行いたい考えですが、国の予算次第というところです。</p>
<p>抽出審議工事3：人吉生産性向上協創拠点整備外壁改修工事・人吉生産性向上協創拠点整備内装改修工事</p> <p>(1) 工事を行うのは何回目ですか。</p> <p>(2) 今後も工事は行われますか。</p> <p>(3) 元の国民宿舎を改装して使用していますが、建物自体は築何年ですか。</p> <p>(4) 躯体(本体)の耐震性には問題はなかったのですか。</p>	<p>(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)</p> <p>(1) 年度としては、平成29年度から平成31年度まで3年度に分けて整備をしてきました。今回の案件は、平成31年度の6本の工事のうちの2本です。</p> <p>(2) 工事は今年度も計画しています。</p> <p>(3) 昭和39年竣工です。</p> <p>(4) 平成26年に耐震診断及び補強工事を行っています。平成30年にも耐震診断を実施しており、その結果を考慮しつつ今回の改修を行っています。今回の工事は、表面のひび割れや欠損などの補修で、構造体そのものではなく、見た目の修繕が主となります。</p>

(5) 工事を外壁改修と内装改修の2つに分ける意味はあるのですか。

(6) 工事を2つに分けることで、経費の積算は変わってきますか。

**抽出審議工事4：人吉東小学校北側ブロック
塀撤去新設工事**

(1) 平成30年度に東側ブロック塀でも工事が行われていましたが、今回の工事が同時にできなかったのはなぜですか。

(2) 今後も工事は予定されていますか。また、他の学校でも同じような工事はありますか。

(3) フェンスの仕様が一部変更とありますが、どのような変更ですか。

抽出審議工事5：人吉市庁舎建設工事

(1) 入札の金額に差がありますが、何か理由が考えられますか。

(2) 予定価格の事前公表は行ったのですか。

(5) 繰越予算のため、年度内の竣工が義務付けられていました。年度内に確実に完了させるため、2つに分けて発注・契約を行いました。

(6) 二重に経費がかかってくる所もあり、合わせて発注をした方が価格も安くなりますが、今回の工事については工期が短いことから、分けて発注を行いました。

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1) 予算の関係で2回に分けて工事を行いました。

(2) 東小学校での工事は完了しました。他の学校では工事の予定はありません。

(3) フェンス設置箇所が交差点に近接しており、当初予定していた目隠しフェンスでは車の見通しを妨げることが分かりました。そのため、見通しを確保するメッシュのフェンスに変更しました。

(事務局より入札・契約事務の経過について説明する。)

(1) オリンピック需要での資材高騰など、市場が落ち着かない状況での入札であったことも差が出た要因の一つと考えられます。各企業体とも独自で積算されており、企業努力を含んだところでの価格設定となっています。そこでの差が出てきているのではないかと考えられます。

(2) 1・2回目の入札時には事前公表していません。3回目に事前公表を行いました。

<p>(3) 落札額が予定価格を大幅に下回っていますが、企業は利益を生み出せるのでしょうか。</p> <p>(4) 予定価格の積算については専門的な知識が必要になると思いますが、職員が積算を行っているのですか。</p> <p>(5) 工期の変更で期間が671日間となっているのはなぜですか。</p> <p>(6) 工事は着手されているのですか。また、新型コロナウイルスの影響は出ていますか。</p> <p>(7) 入札への参加事業者は3者ですが、質疑を行った事業者はいくつありましたか。</p>	<p>(3) 落札額を見ただけでは、利益が出るかを判断できないところです。適正な入札であると考えています。</p> <p>(4) 最終的な設計は担当職員が行いますが、まずはコンサルタントが設計・積算を行い、そのデータを基に職員が発注用の積算を行います。</p> <p>(5) 今回の工事は、入札要件の中に工期を示しており、工事着手日から671日間としていました。業者との打合せ後に着手日が変更となったため、工期の変更契約を行いました。</p> <p>(6) 工事は2月26日に着手しています。現在のところ、新型コロナウイルスの影響はありません。現場でも3密対策を行いながら工事を進めています。</p> <p>(7) 質疑があったのは、入札に参加した3者のみです。</p>
---	---